WILL GROUP

2027年3月期

第2四半期 決算補足資料

2026年11月9日

株式会社ウィルグループ

東証プライム市場　証券コード：6089

https://willgroup.co.jp/

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

Agenda

1. 2027年3月期 第2四半期 (累計) 実績 P. 3

2. 2027年3月期 通期業績予想、株主還元 P. 25

Appendix P. 30

※本資料においては一部、「国内Working事業」を「国内W」、「海外Working事業」を「海外W」という略称で表記しています。

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

Agenda

1. 2027年3月期 第2四半期 (累計) 実績 P. 3
2. 2027年3月期 通期業績予想、株主還元 P. 25

Appendix P. 30



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

業績ハイライト　－ 連結・セグメント －

- 連結では、売上規模の拡大と収益性の向上により大幅増益を達成。好調な上期業績を織り込み、通期業績予想を上方修正。
- 国内Working事業では、正社員・外国人HRビジネスの拡大を通じた収益構造改革を継続。正社員派遣/請負の採用強化及び外国人雇用支援の基盤強化による在籍人数・支援人数の拡大に加え、HR CAREER社における人材紹介の伸長により、売上総利益の拡大と収益性の向上が進展。
- 海外Working事業では、国・領域別の収益性を踏まえた人員配置・採用計画の最適化により、営業生産性が向上。高付加価値案件の獲得及び人材紹介の堅調な伸びを背景とし、売上総利益が拡大。プラスの為替影響 (+1.7億円) も加わり、大幅増益。

売上収益

817.3億円

(前年同期比 **+14.3%**)

売上総利益

188.8億円

(前年同期比 **+23.0%**)

売上総利益率 23.1%
（前年同期比+1.6pt）

営業利益

24.9億円

(前年同期比 **+52.0%**)

営業利益率 3.0%
（前年同期比 +0.7pt）

国内Working事業

売上収益	セグメント利益
469.8億円 (前年同期比 **+9.9%**)	**22.1億円** (前年同期比 **+25.6%**)

海外Working事業

売上収益	セグメント利益
347.0億円 (前年同期比 **+20.9%**)	**15.5億円** (前年同期比 **+35.5%**)

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

重点戦略の進捗

国内Working事業　正社員・外国人HRビジネスの拡大

- 正社員派遣/請負及び外国人雇用支援の拡大、人材紹介の伸長が売上総利益の増加に寄与。中長期的な成長力向上に向け、生産性の改善に取り組む。

実施した取り組み	事業の変化	成果・課題
✓ 正社員派遣/請負の採用強化 ✓ 外国人雇用支援の基盤強化 ✓ HR CAREER社を通じた医療・福祉領域の人材紹介事業の拡大	【前年同期比】 ✓ 売上総利益率 +2.7pt ✓ 正社員派遣/請負在籍人数 +15.1% ✓ 外国人雇用支援人数 +24.7% ✓ 人材紹介 入社人数 +96.4%	【成果】 重点サービスの拡大が増益に寄与 【課題】 生産性の改善

海外Working事業　生産性を重視した収益力の強化

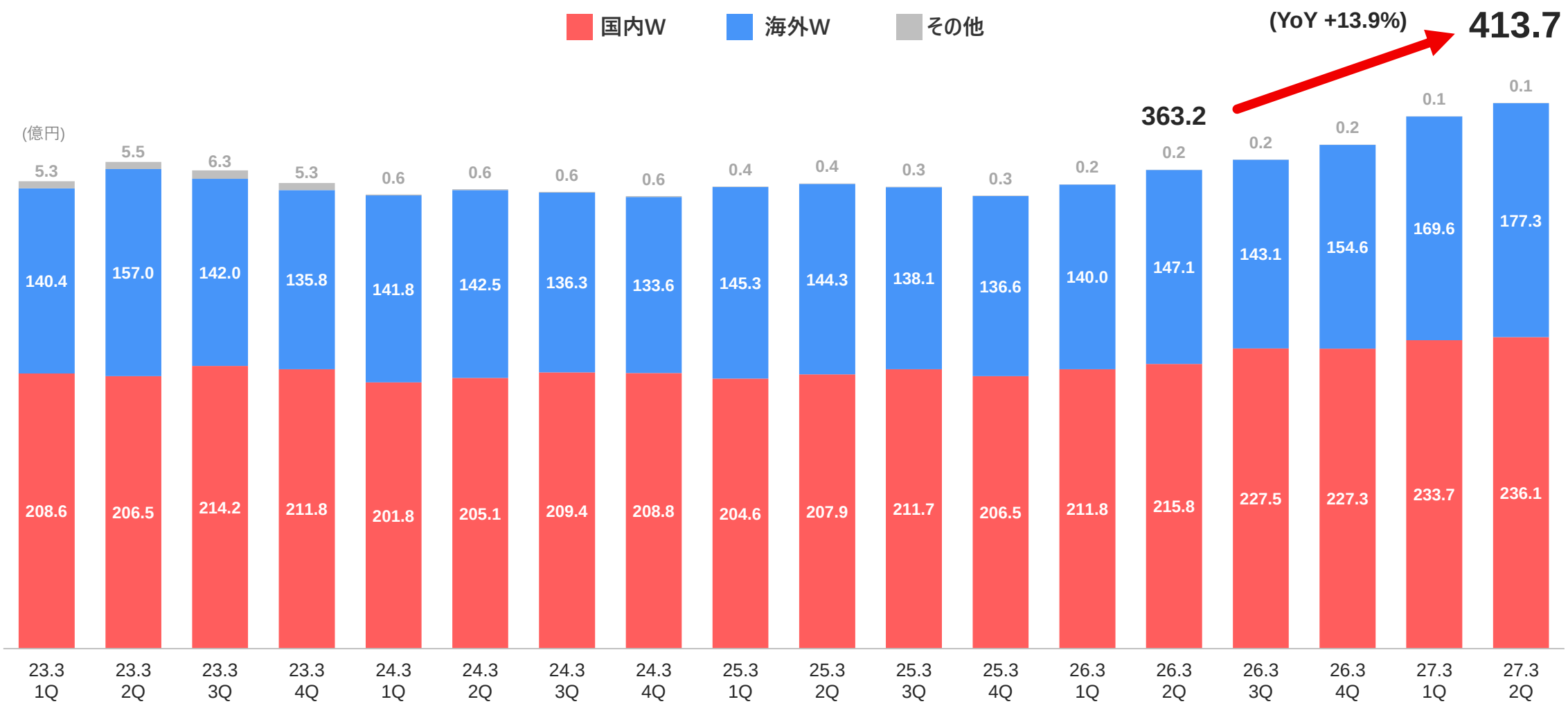
- 収益性を重視した資源配分により、収益効率は回復基調。引き続き、需要環境に応じた人員配置・コストマネジメントに取り組む。

実施した取り組み	事業の変化	成果・課題
✓収益性に応じた営業人員の配置・採用計画の最適化 ✓高単価の人材紹介案件に対する営業活動に注力	【前年同期比】 ✓販管費あたり売上総利益倍率 1.23倍 → 1.26倍 ✓シンガポール・その他における紹介内定人数 +12.6%	【成果】 生産性の改善 【課題】 オーストラリアの需要に応じた人員配置・コストマネジメント

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

四半期推移　－ 連結売上収益 －

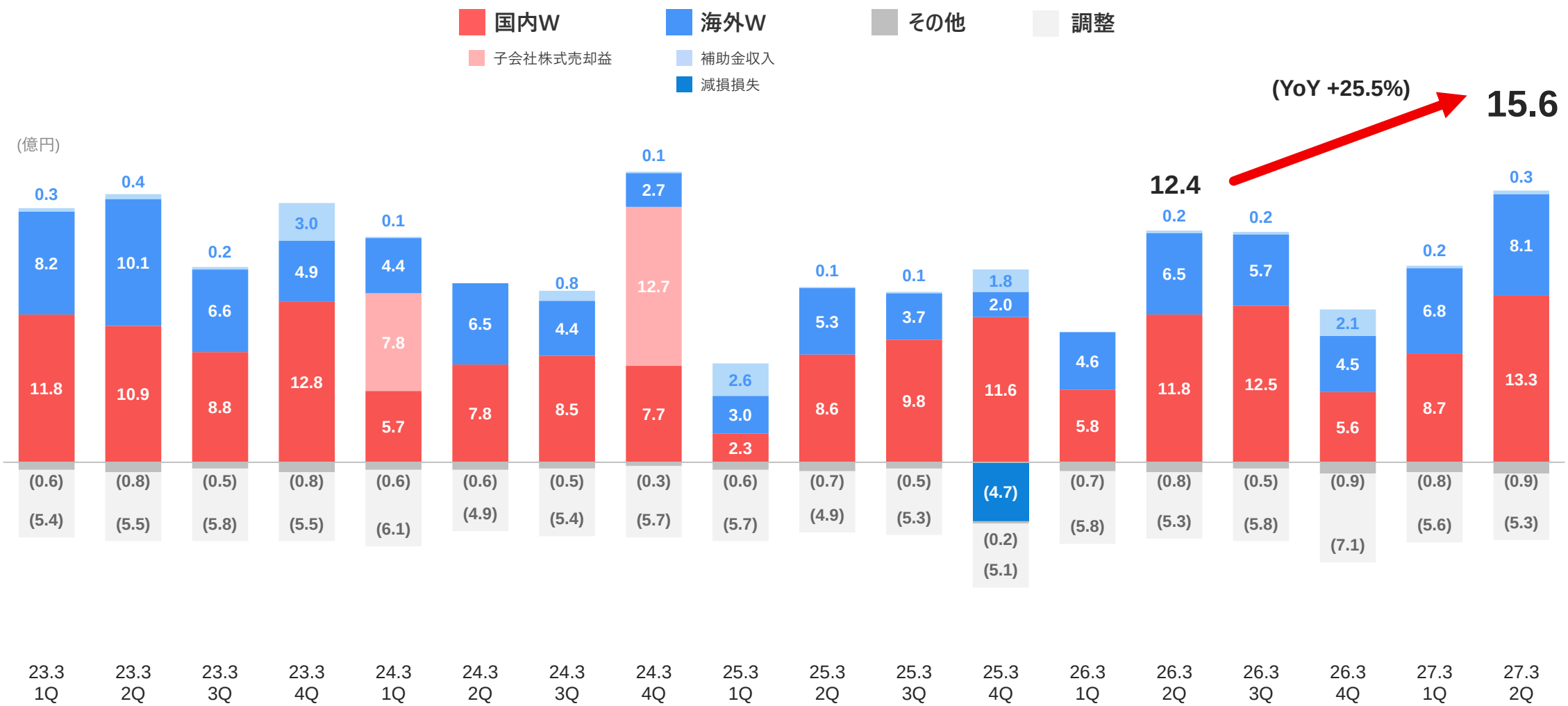
- 2Qの連結売上収益は、26.3期2Q比 50.5億円の増収 (うち、為替影響 +23.8億円)。　四半期売上高は過去最高を連続更新。



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

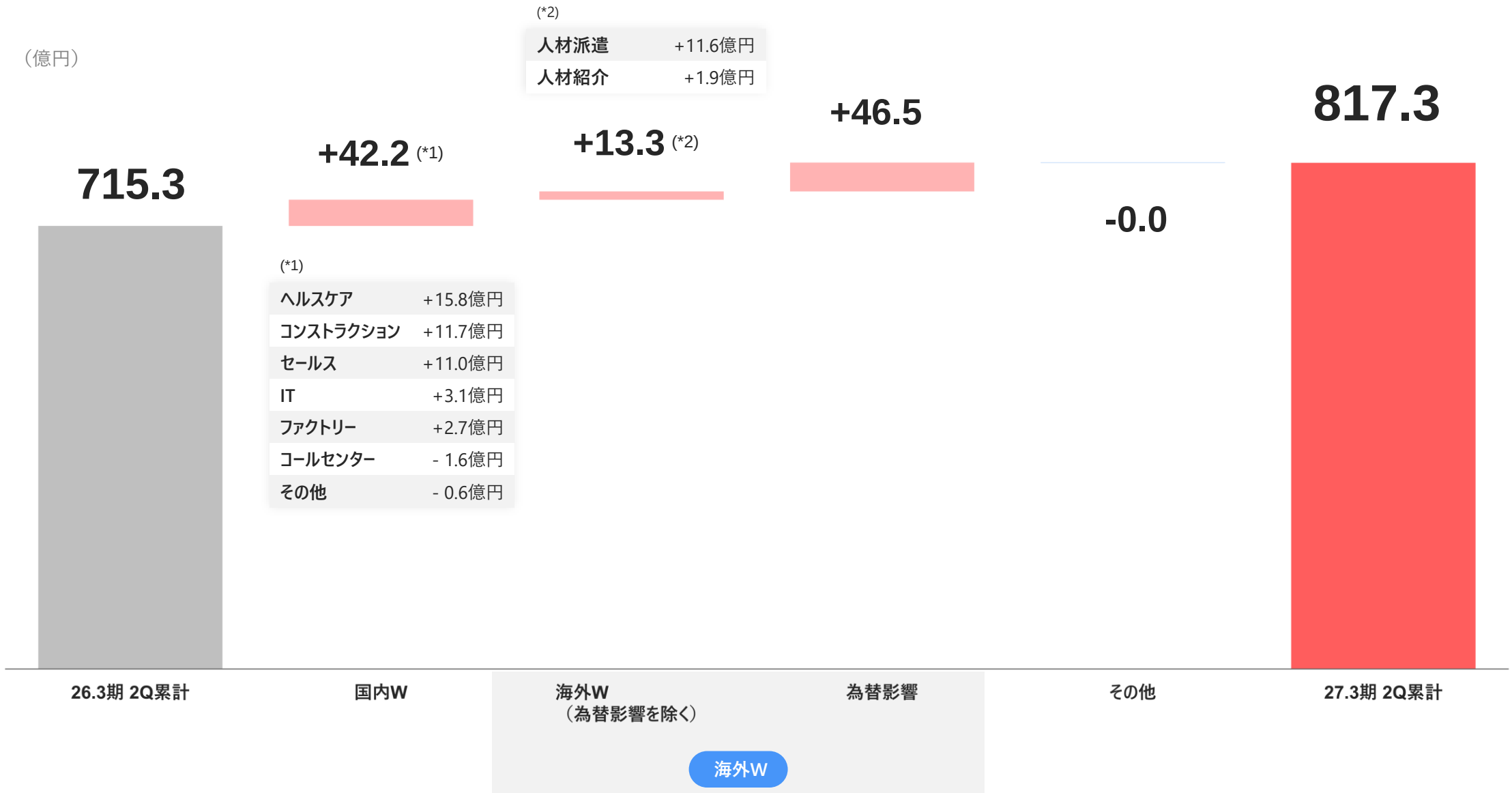
四半期推移　－ 連結営業利益 －

- 2Qの連結営業利益は、26.3期2Q比 3.1億円の増益 (うち、為替影響 +1.0億円、海外Working事業の政府補助金収入 +0.1億円)。



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

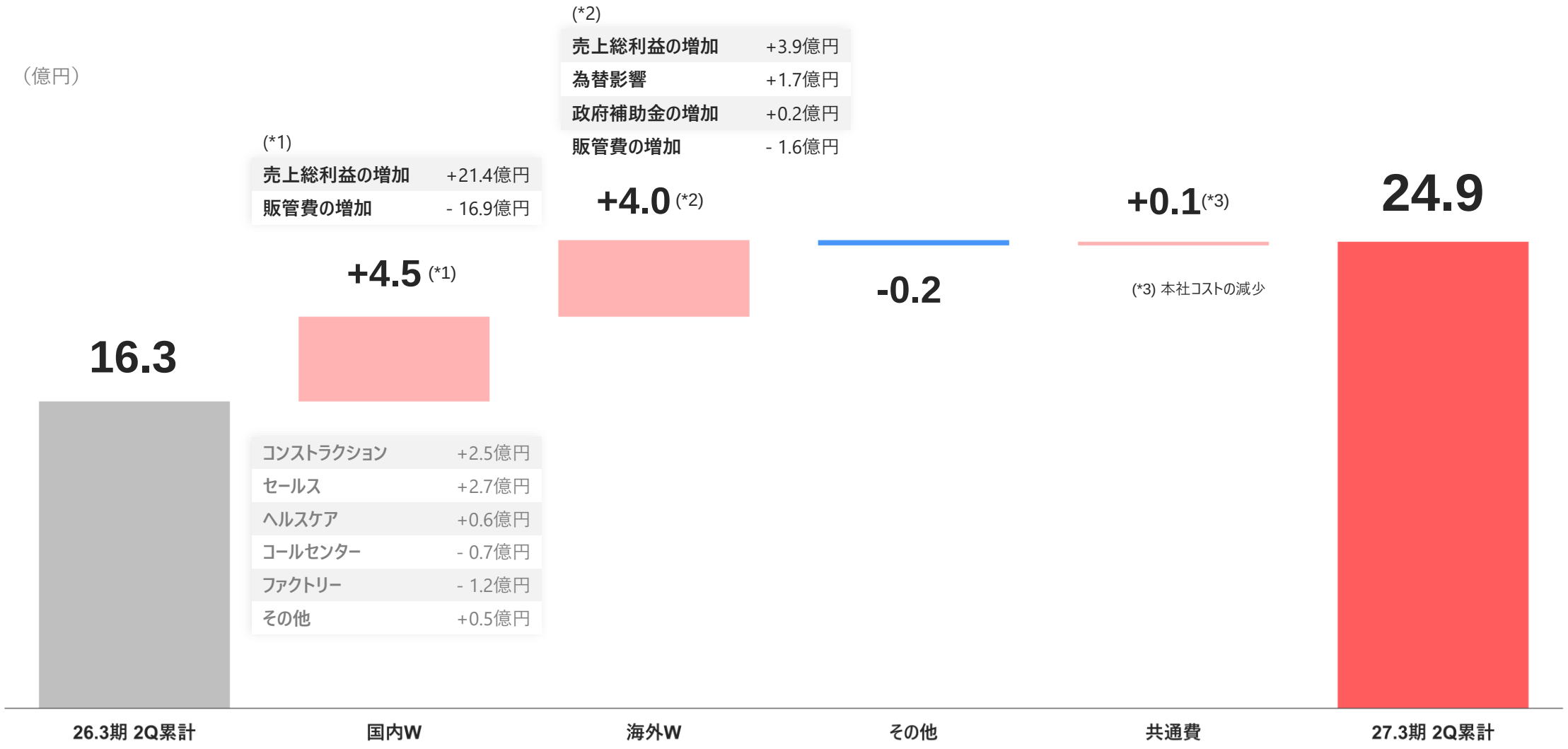
前年同期増減内訳　－ 連結売上収益 －



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

前年同期増減内訳　－ 連結営業利益 －

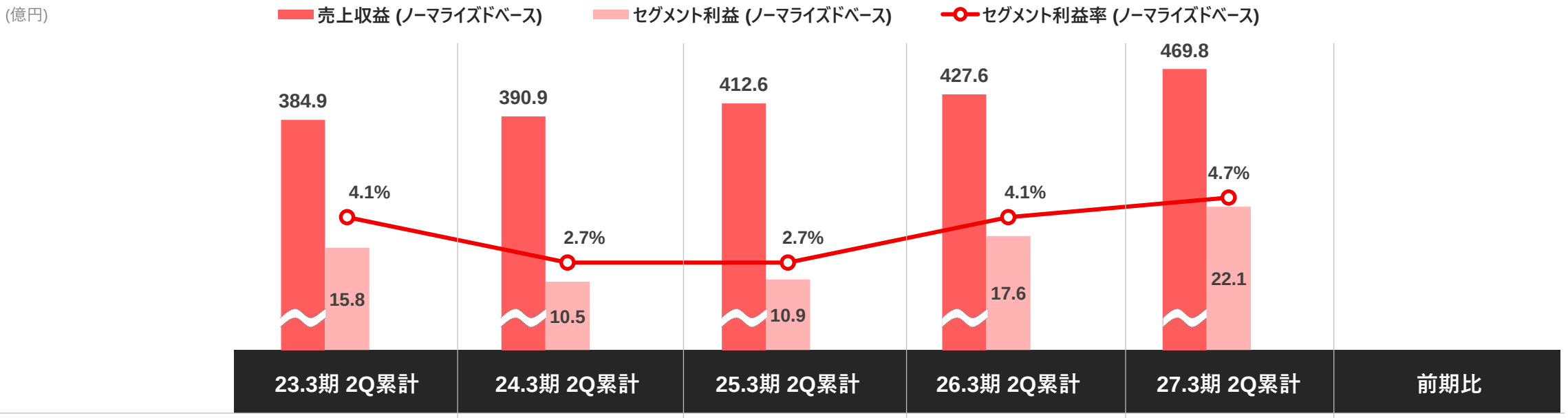
（億円）



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

国内Working事業　－ 全体 －

- 売上収益は、上期過去最高を更新。
- セグメント利益・セグメント利益率 (ノーマライズドベース) は、25.3期を底に改善基調が継続。利益成長率 (前年同期比+25.6%) は売上成長率 (同+9.9%) を大きく上回り、収益構造改革は着実に進展。



	23.3期 2Q累計	24.3期 2Q累計	25.3期 2Q累計	26.3期 2Q累計	27.3期 2Q累計	前期比
ノーマライズド売上収益*1 (売上収益)	384.9 (415.2)	390.9 (407.0)	412.6 (412.6)	427.6 (427.6)	469.8 (469.8)	+9.9%
ノーマライズドセグメント利益*2 (セグメント利益)	15.8 (22.7)	10.5 (21.4)	10.9 (10.9)	17.6 (17.6)	22.1 (22.1)	+25.6%
ノーマライズドセグメント利益率	4.1%	2.7%	2.7%	4.1%	4.7%	+0.6pt

*1　ノーマライズド売上収益：連結除外の影響を除いた売上収益
*2　ノーマライズドセグメント利益：一過性の損益 (子会社株式売却益・連結除外の影響) を除いたセグメント利益

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

国内Working事業　－ 戦略テーマ －

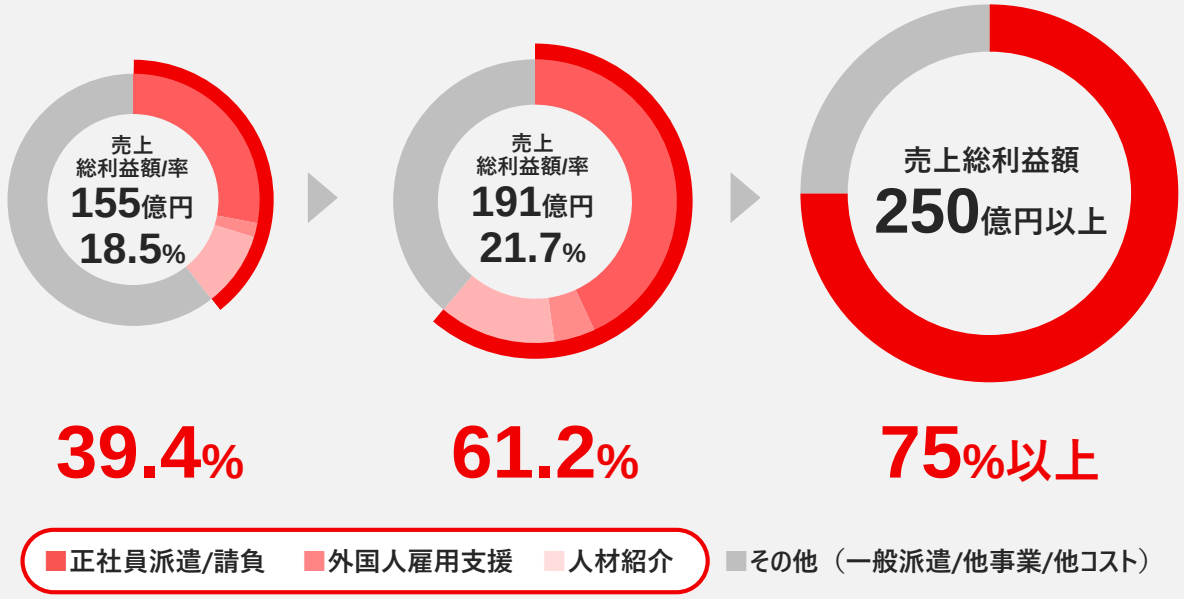
- 中期経営計画「WILL-being 2029」における国内Working事業の戦略テーマは、「正社員・外国人HRビジネスの拡大」。
- エッセンシャル領域*1を主戦場とし、収益性の高い正社員派遣/請負・外国人雇用支援・人材紹介の構成比を高め、29.3期には国内Working事業の売上総利益250億円のうち、同ビジネスが占める構成比75％以上を目指す。

国内Working事業

正社員・外国人HRビジネスの拡大

- 正社員派遣/請負
- 外国人雇用支援
- 人材紹介

売上総利益のサービス別構成比の変化

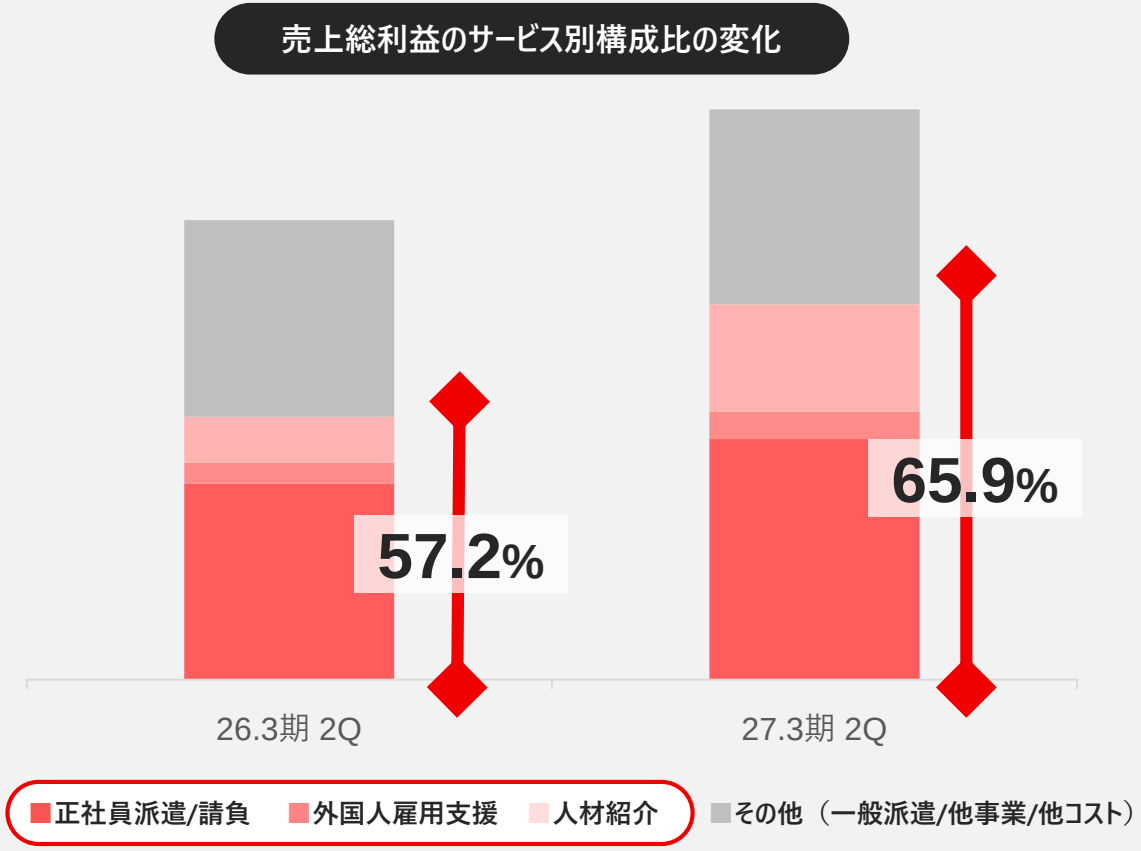


*1　社会生活を維持するために必要不可欠、かつAI代替・自動化されにくい領域。一般的にエッセンシャルワーカーと定義される領域を含む。
*2　子会社売却による連結除外影響を除く。

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

国内Working事業　－ 売上総利益の変化 －

- 正社員派遣/請負及び外国人雇用支援の拡大、HR CAREER社のグループインによる人材紹介の伸長が、売上総利益の増加に寄与。



指標	26.3期2Q	27.3期2Q	前年同期比
国内Working事業の売上総利益額	89.1億円	110.6億円	+21.4億円
国内Working事業の売上総利益率	20.8%	23.5%	+2.7pt
正社員・外国人HRビジネスの構成比	57.2%	65.9%	+8.7pt

正社員派遣/請負

売上総利益　⇒　前年同期比　+8.6億円
採用・育成の強化　⇒　在籍人数の拡大 (P.13参照)

外国人雇用支援

売上総利益　⇒　前年同期比　+1.2億円
支援体制の拡充　⇒　支援人数の拡大 (P.15参照)

人材紹介

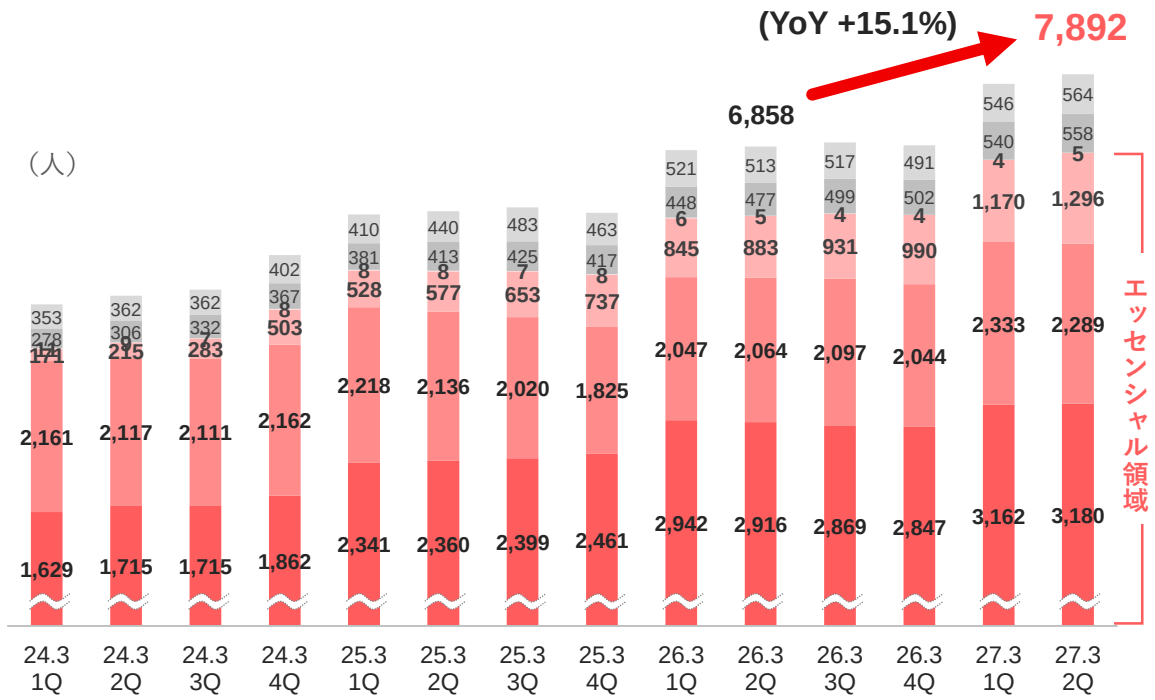
売上総利益　⇒　前年同期比　+11.8億円
職業紹介体制の拡充　⇒　紹介人数の拡大 (P.15参照)

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

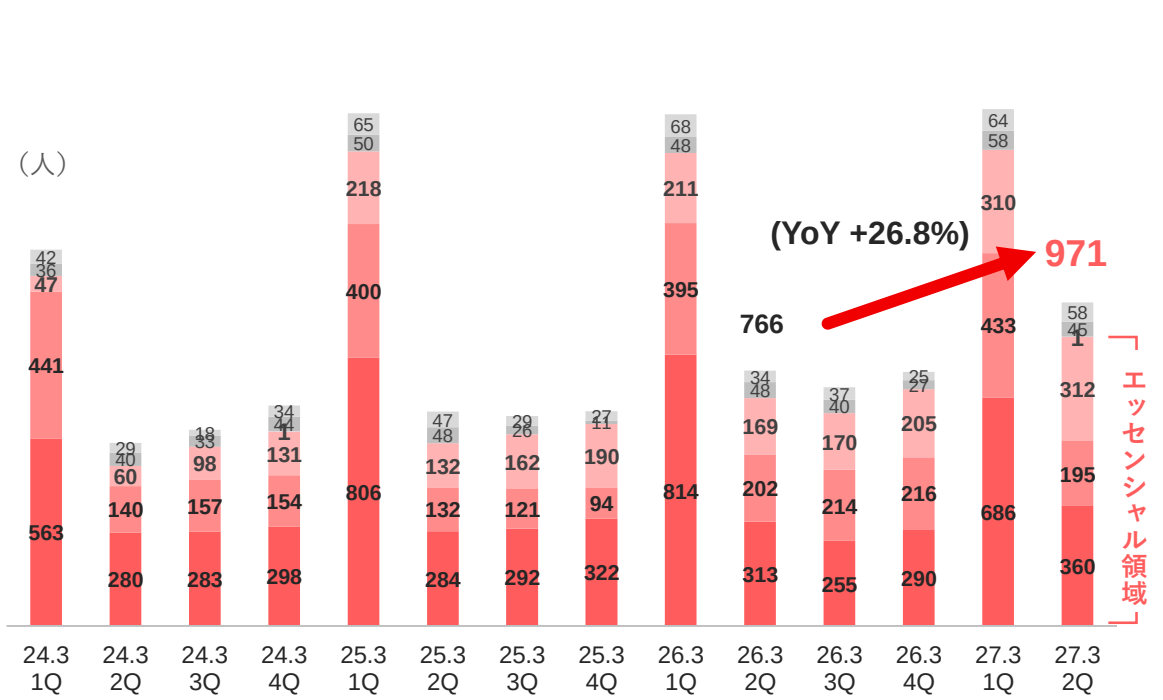
国内Working事業　－ 主要KPI（正社員派遣/請負） －

- エッセンシャル領域*1を中心に、正社員派遣/請負の在籍人数は順調に拡大（前年同期比 +1,034名）。
- 継続的なブランドプロモーションによる認知度向上に加え、採用ノウハウの蓄積・高度化による採用力強化を背景に、正社員派遣/請負の採用人数は堅調に推移。
  （27.3期1Qには、新卒採用599名を含む。(コンストラクション：348名、セールス：228名、ファクトリー：8名、IT：13名、コールセンター：2名) ）

正社員派遣/請負　在籍人数



正社員派遣/請負　採用人数

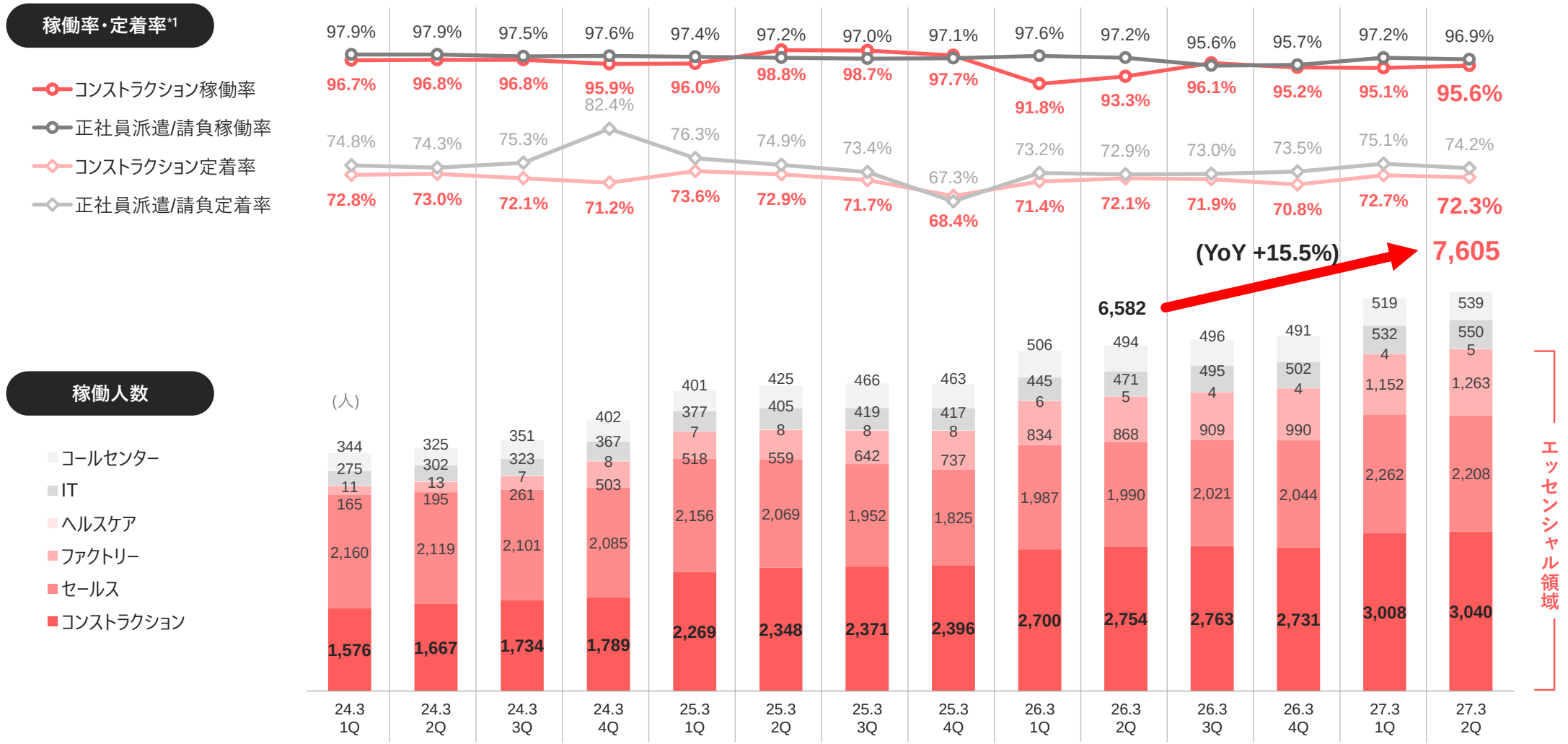


*1　社会生活を維持するために必要不可欠、かつAI代替・自動化されにくい領域。一般的にエッセンシャルワーカーと定義される領域を含む。

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

国内Working事業　－ 正社員派遣/請負（稼働人数・稼働率・定着率） －

- 各分野において、配属先の適切な見極めや就業後の定期面談フォローなど、定着率向上のための取り組みを実施。定着率は前年同期を上回る。
- 稼働率は、各分野とも90％後半の高水準を維持。引き続き、新規顧客開拓を含めた配属先の拡充等、早期配属へ向けた取り組みを継続。



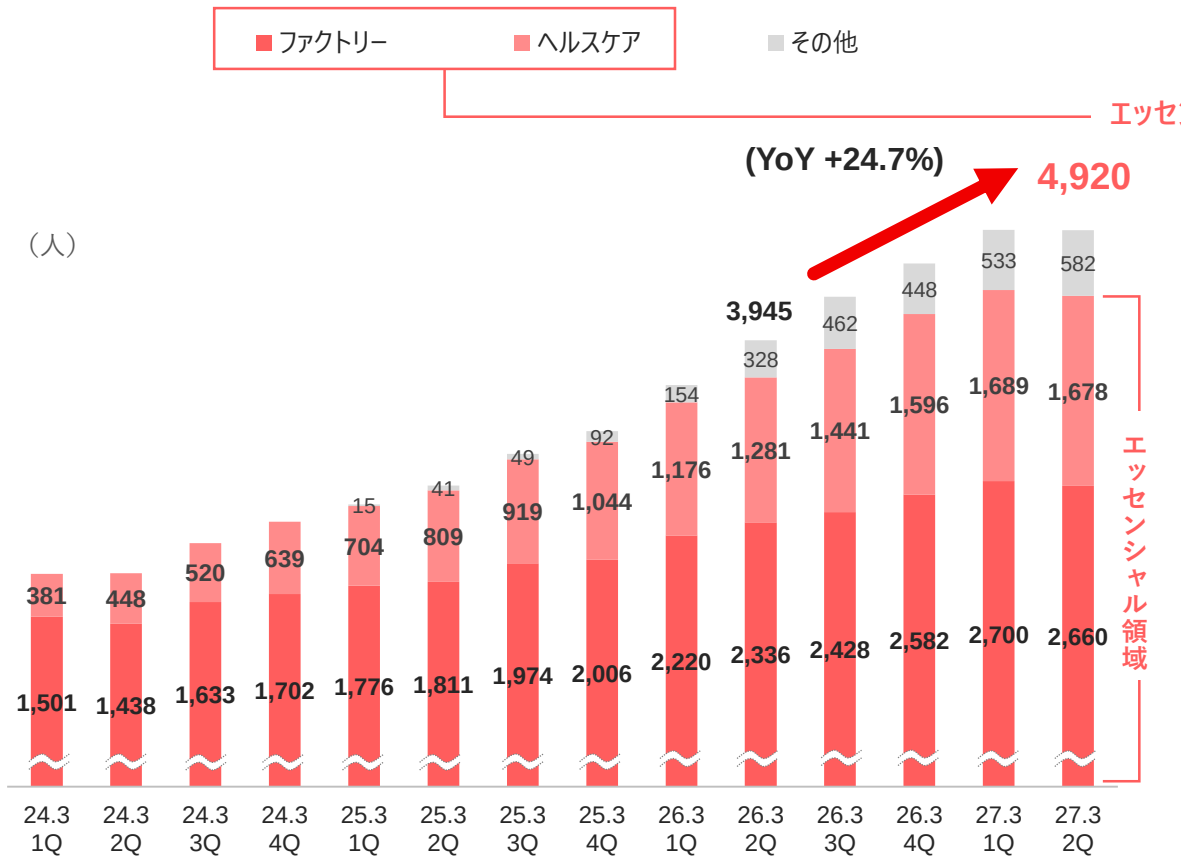
*1　コンストラクションの1Qの稼働率は、新卒研修期間の影響を除外した6月単月の稼働率。

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

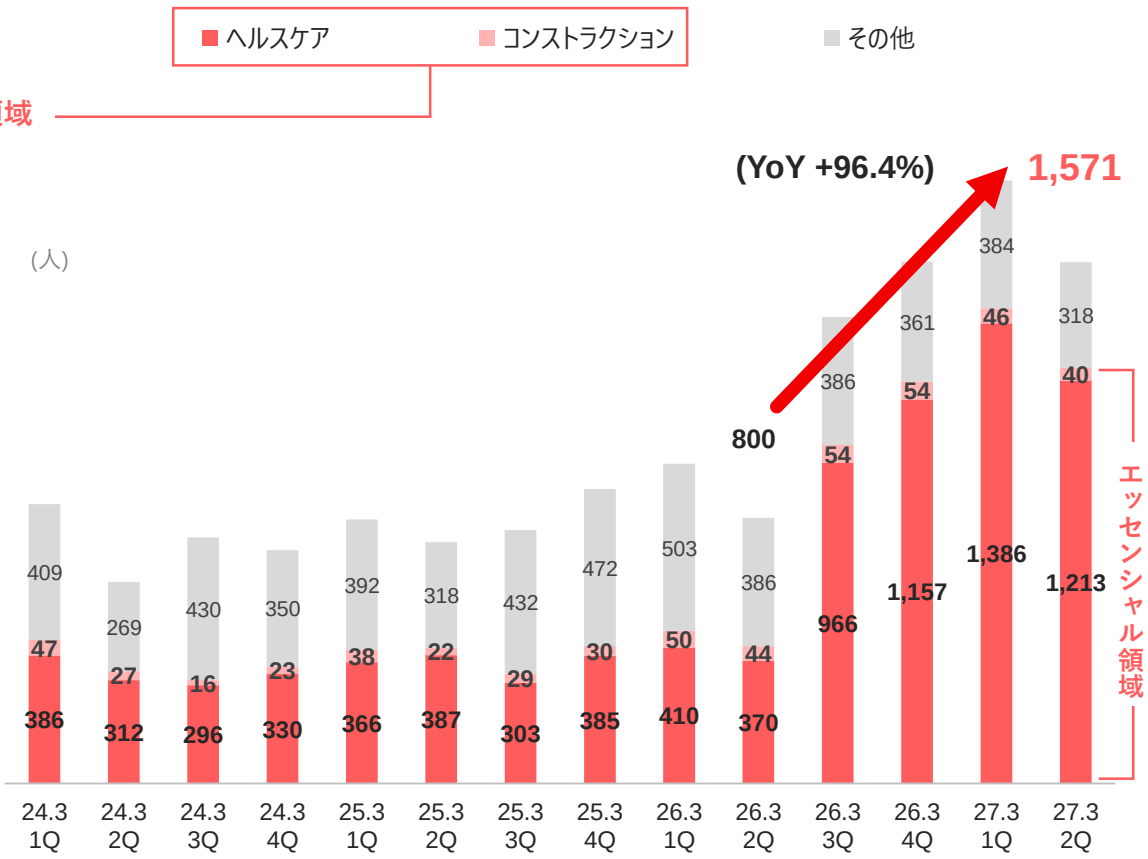
国内Working事業　－ 主要KPI（外国人雇用支援・人材紹介）

- 外国人雇用支援は、ファクトリー・ヘルスケア分野において、既存顧客への営業活動と受入れ後の生活・就業支援に注力。両分野で支援人数は過去最高水準を維持し、継続的な収益確保に向けた基盤を強化。
- 人材紹介事業は、26.3期3QにグループインしたHR CAREER社が寄与し、ヘルスケア分野が堅調に推移。入社人数は、季節要因により1Q比減だが着実に増加傾向。

外国人雇用支援　支援人数



人材紹介　入社人数



*1　社会生活を維持するために必要不可欠、かつAI代替・自動化されにくい領域。一般的にエッセンシャルワーカーと定義される領域を含む。

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

国内Working事業　－ 採用力強化を目的としたブランドプロモーション －

- 人材獲得競争が続く中、採用力強化に向けてブランドプロモーションを継続し、認知度向上と応募者との接点拡大を推進。
- 「WILLOF (ウィルオブ) 」全体の認知率はプロモーション実施前と比較して大幅に上昇し、自社媒体経由での応募数も増加傾向。

これまでの取り組み

2023年7月～	「WILLOF (ウィルオブ)」のブランドプロモーション開始
↓	テレビCM、SNS等を利用したプロモーション戦略を継続実施
2026年6月～	新CM「ウィルオブとおはなししませんか？」放映

ブランドプロモーションの効果

「WILLOF (ウィルオブ)」の認知率*1

23.3期 (プロモーション実施前)　⇒　27.3期2Q

約285%UP

*1 放映地域20~59歳男女の助成想起率



ウィルオブ

ウィルオブのサイトからCMをご覧いただけます
https://willof.jp/

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

国内Working事業 － グループ内組織再編 (連結子会社間の統合・商号変更・代表取締役の異動) －

- 国内Working事業の戦略テーマである「正社員・外国人HRビジネスの拡大」の推進のため、連結子会社間の統合、商号変更、代表取締役の異動を決定。
- グループの一体化と経営資源の有効活用を進め、業務効率化や生産性の向上を図るとともに、採用環境やコスト構造の変化に対応し、事業競争力と経営基盤を強化する。

グループ内組織再編の目的

国内Working事業における「正社員・外国人HRビジネスの拡大」の推進

連結子会社間の統合、商号変更、代表取締役の異動

経営基盤の集約による採用・定着の強化、生産性の向上

統合当事会社	株式会社ウィルオブ・ワーク 株式会社ウィルオブ・コンストラクション
統合後の新商号	株式会社ウィルオブ
新代表取締役	田中謙 (現 株式会社ウィルオブ・ワーク 取締役、 株式会社ウィルオブ・コンストラクション 代表取締役)
効力発生日	2027年4月1日 (予定)

連結子会社の商号変更

サービスブランド統一による集客力の強化

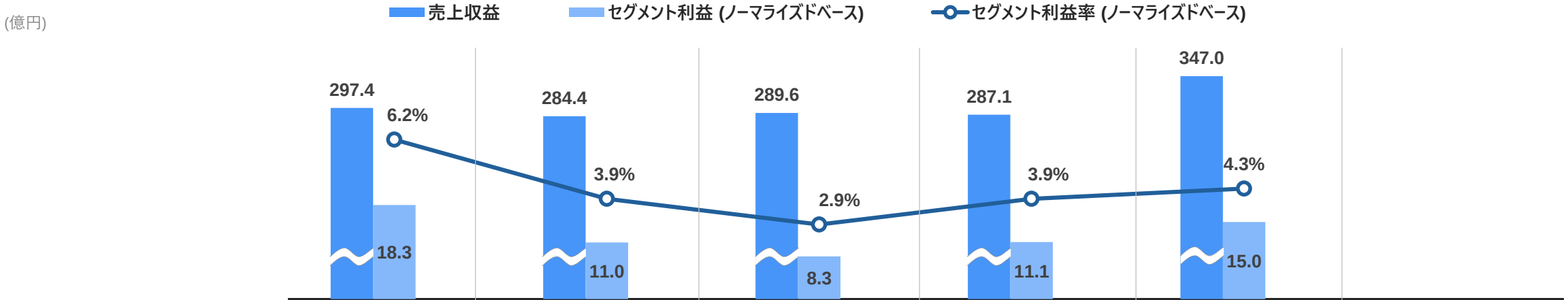
現商号	株式会社HR CAREER
新商号	株式会社ウィルオブ・キャリア
効力発生日	2027年4月1日 (予定)

2026年10月27日適時開示「グループ内組織再編（連結子会社間の合併、連結子会社2社の商号変更及び連結子会社の代表取締役の異動）に関するお知らせ」

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

海外Working事業　－ 全体 －

- 売上収益は、前年同期比+20.9%の347.0億円となり、23.3期の実績を上回り、上期過去最高を達成。
- セグメント利益率 (ノーマライズドベース) は、4.3％ (前年同期比 +0.4pt) 。23.3期の6.2％には及ばないものの、人材紹介事業が堅調に推移したことに加え、派遣スタッフ1人当たり売上総利益の向上により、収益性は着実に改善。



	23.3期2Q累計	24.3期2Q累計	25.3期2Q累計	26.3期2Q累計	27.3期2Q累計	前期比
売上収益	297.4	284.4	289.6	287.1	347.0	+20.9%
ノーマライズドセグメント利益*1 (セグメント利益)	18.3 (19.1)	11.0 (11.2)	8.3 (11.1)	11.1 (11.5)	15.0 (15.5)	+34.4%
ノーマライズドセグメント利益率	6.2%	3.9%	2.9%	3.9%	4.3%	+0.4pt

*1　ノーマライズドセグメント利益：一過性の損益 (政府補助金) を除いたセグメント利益

為替感応度	計画レート	2Q実績レート	前年同期レート	1円変動による影響額 / 年	
				売上収益	利益
オーストラリアドル	105円	113円	95円	379百万円	12百万円
シンガポールドル	121円	125円	113円	193百万円	13百万円

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

海外Working事業　－ 戦略テーマ －

- 中期経営計画「WILL-being 2029」における海外Working事業の戦略テーマは、「生産性を重視した収益力の強化」。
- 既存の顧客基盤と専門性を活かした生産性向上と、為替・政策変動リスクを踏まえた収益管理を徹底するとともに、市場性・収益性を見極めた他国展開や新領域への参入を検討し、市場環境の変化に左右されにくい安定的な収益基盤を確立することで、ポストコロナ以前の安定利益水準への回帰を目指す。

海外Working事業

生産性を重視した収益力の強化

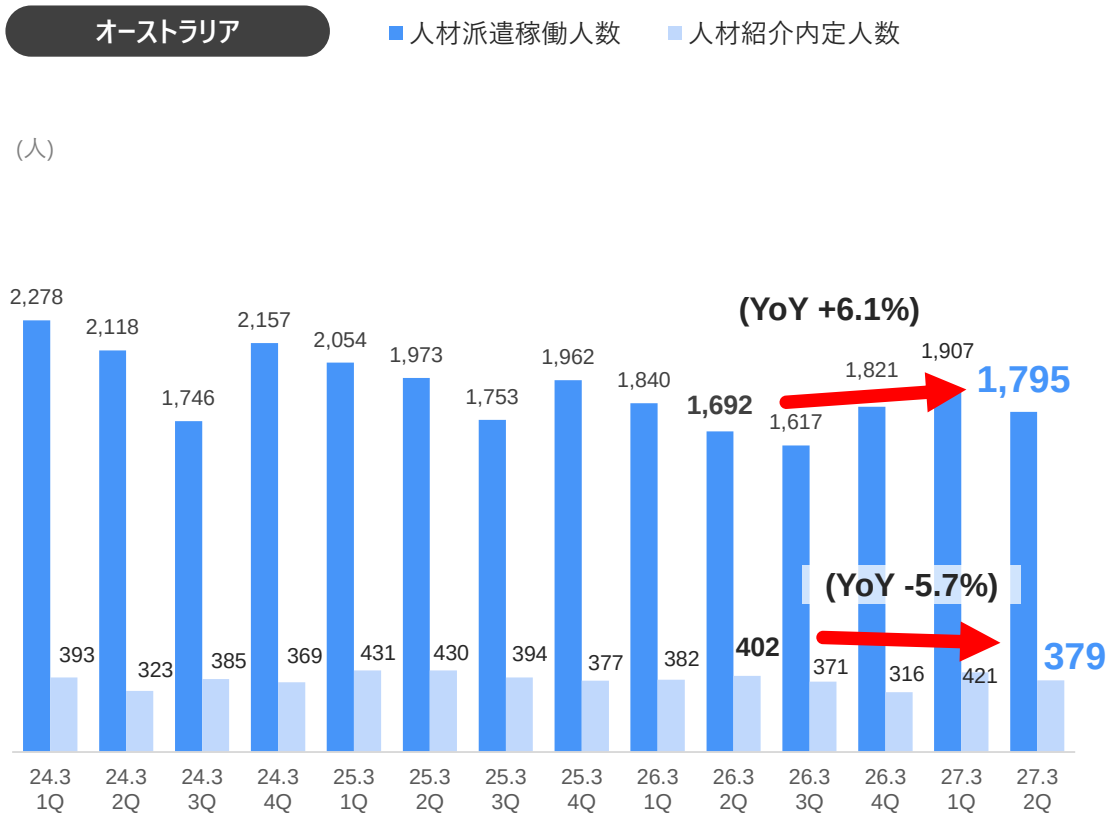
- 生産性を重視
- 成長余地の高い領域への資源配分
- 新たな国/領域の探索

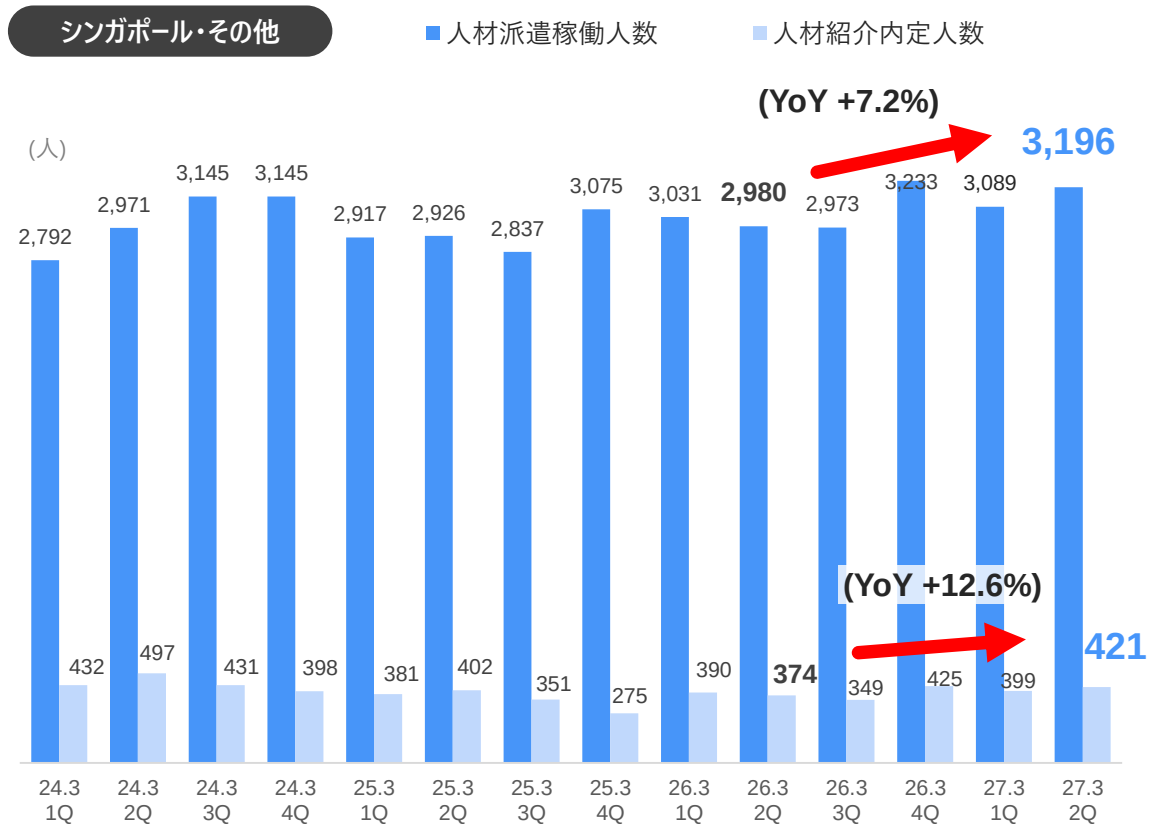
© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

海外Working事業　－ 主要KPI（人材派遣稼働人数・人材紹介内定人数） －

- オーストラリアにおいては、連邦政府関連の採用代行需要の低迷が続き、紹介内定人数は伸び悩むものの、収益性に応じた人員配置・採用計画の最適化により営業生産性は向上。
- シンガポール・その他においては、政府系案件やIT関連案件に注力し、派遣稼働人数・紹介内定人数ともに堅調に推移。高単価な人材紹介案件の獲得や派遣スタッフ1人当たり売上総利益の向上が、収益性改善に寄与。

人材派遣稼働人数・人材紹介内定人数

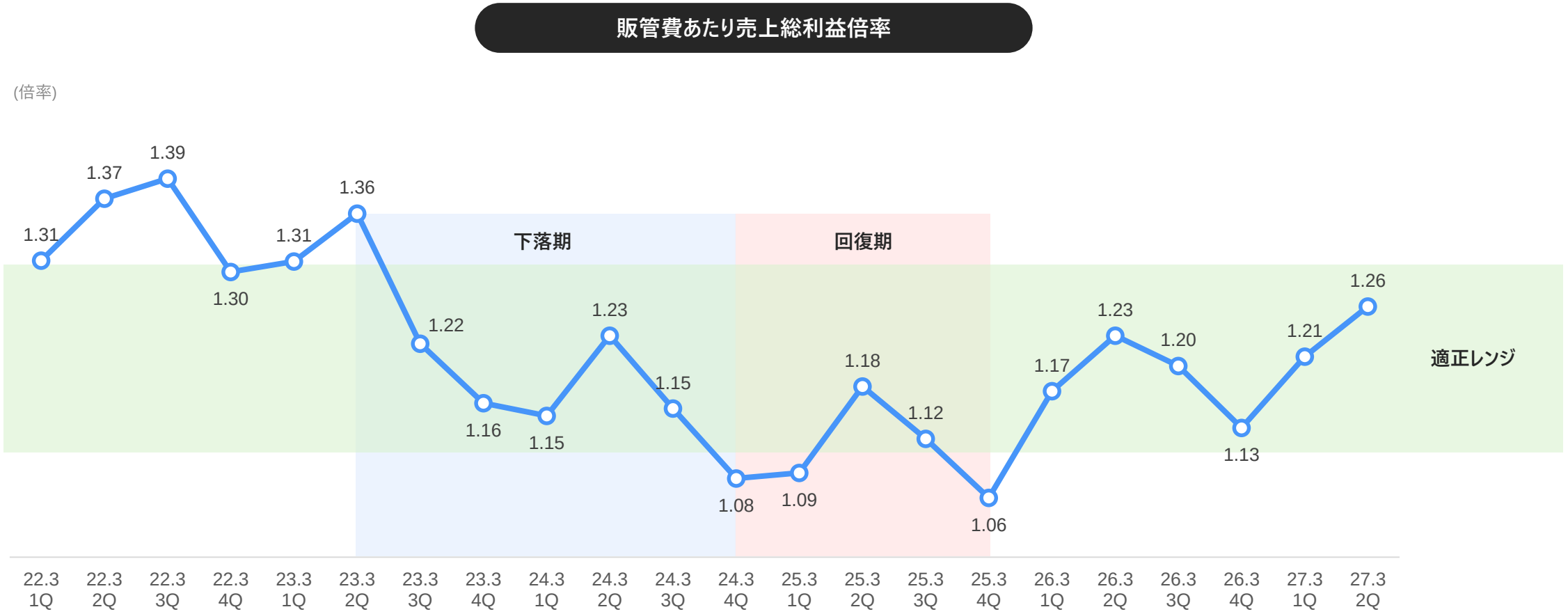




© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

海外Working事業　－ 主要KPI（販管費あたり売上総利益倍率） －

- 販管費あたり売上総利益倍率は、ポストコロナの人材需要の一巡やインフレ加速の影響により、23.3期から24.3期にかけて低下したものの、収益性を重視した資源配分、販管費コントロール及び生産性向上により、25.3期以降は回復傾向となり適正レンジ内を維持。



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

連結業績

- 中期経営計画「WILL-being 2029」の戦略テーマの推進により、売上規模の拡大と収益性の向上を両立し、利益成長が進展。

単位：億円	前年同期	当期実績	前年同期比 (額)	前年同期比 (率)	上期業績予想 (2026年8月7日公表)	業績予想比 (額)	業績予想比 (率)
売上収益	**715.3**	**817.3**	**+102.0**	**+14.3%**	**818.8**	**-1.5**	**-0.2%**
うち、国内Working事業	427.6	469.8	+42.2	+9.9%	470.8	-0.8	-0.2%
うち、海外Working事業	287.1	347.0	+59.8	+20.9%	347.7	-0.6	-0.2%
うち、その他	0.4	0.3	-0.0	-14.0%	0.3	-0.0	+0.6%
売上総利益	**153.6**	**188.8**	**+35.2**	**+23.0%**	**188.8**	**+0.0**	**+0.0%**
(売上総利益率)	(21.5 %)	(23.1 %)	+1.6pt		(23.1 %)	+0.0pt	
営業利益	**16.3**	**24.9**	**+8.5**	**+52.0%**	**21.3**	**+3.6**	**+16.9%**
(営業利益率)	(2.3 %)	(3.0 %)	+0.7pt		(2.6 %)	+0.4pt	
うち、国内Working事業	17.6	22.1	+4.5	+25.6%	20.5	+1.5	+7.7%
うち、海外Working事業	11.5	15.5	+4.0	+35.5%	14.2	+1.3	+9.3%
うち、その他	(1.5)	(1.8)	-0.2	–	(2.0)	+0.1	–
うち、調整額	(11.2)	(11.0)	+0.1	–	(11.5)	+0.5	–
親会社の所有者に帰属する当期利益	**11.4**	**16.2**	**+4.7**	**+41.5%**	**13.4**	**+2.7**	**+20.7%**
EBITDA	**26.1**	**36.8**	**+10.7**	**+41.3%**	**33.1**	**+3.7**	**+11.2%**

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

連結貸借対照表

- 資産は 10.9億円の減少 (現金及び現金同等物 -16.9億円、営業債権及びその他の債権 +4.7億円等) 。
- 負債は 16.7億円の減少 (借入金 -6.5億円、営業債務及びその他の債務 -5.4億円等) 。
- 資本は 5.8億円の増加 (親会社帰属中間利益 +16.2億円、配当金の支払いによる利益剰余金 -10.1億円等) 。

(単位：億円)	2026年 3月末	2026年 9月末	増減額
流動資産合計	**299.4**	**294.9**	**-4.5**
うち、現金及び現金同等物	79.7	62.7	-16.9
うち、営業債権及びその他の債権	203.0	207.7	+4.7
非流動資産合計	**266.0**	**259.6**	**-6.4**
うち、のれん	98.5	98.5	-0.0
うち、その他の無形資産	63.8	60.9	-2.8
資産合計	**565.5**	**554.6**	**-10.9**
親会社所有者帰属持分比率	**35.8%**	**37.6%**	**+1.8pt**
ネットD/Eレシオ	**0.1倍**	**0.2倍**	**－**
のれん 親会社所有者帰属持分倍率	**0.5倍**	**0.5倍**	**－**
EBITDA有利子負債倍率	**2.0倍**	**1.8倍**	**－**

(単位：億円)	2026年 3月末	2026年 9月末	増減額
流動負債合計	**282.0**	**266.3**	**-15.7**
うち、営業債務及びその他の債務	201.0	195.5	-5.4
うち、借入金	33.5	23.9	-9.6
うち、その他の金融負債	14.5	15.2	+0.7
非流動負債合計	**81.7**	**80.7**	**-1.0**
うち、借入金	26.2	29.3	+3.0
うち、その他の金融負債	38.7	35.0	-3.7
負債合計	**363.8**	**347.0**	**-16.7**
資本合計	**201.6**	**207.5**	**+5.8**
うち、親会社所有者帰属持分合計	202.4	208.5	+6.1
負債及び資本合計	**565.5**	**554.6**	**-10.9**

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

連結キャッシュ・フロー

- 営業C/Fは、9.6億円の収入 (税引前中間利益 +23.8億円、法人所得税の支払額 -10.0億円、営業活動にかかるその他増減額 -15.7億円等) 。
- 投資C/Fは、3.3億円の支出 (有形固定資産及び無形資産の取得 -1.4億円、貸付金の貸付による支出 -2.0億円等) 。
- 財務C/Fは、23.2億円の支出 (配当金の支払額 -10.1億円、有利子負債の純増減額 -13.9億円等) 。

(単位：億円)	2026/3期 2Q累計	2027/3期 2Q累計
税引前中間利益	15.5	23.8
減価償却費及び償却費	9.7	11.9
法人所得税の支払額	(1.1)	(10.0)
その他	(0.5)	(16.1)
営業活動によるキャッシュ・フロー	**23.6**	**9.6**
有形固定資産及び無形資産の取得	(2.0)	(1.4)
投資有価証券の売却による収入	2.0	0.3
貸付金の貸付による支出	–	(2.0)
その他	(0.2)	(0.2)
投資活動によるキャッシュ・フロー	**(0.3)**	**(3.3)**
フリーキャッシュ・フロー（営業C/F+投資C/F）	**23.2**	**6.3**

(単位：億円)	2026/3期 2Q累計	2027/3期 2Q累計
有利子負債の純増減額	(11.5)	(13.9)
配当金の支払額	(10.1)	(10.1)
政府補助金による収入	0.6	0.8
その他	0.0	0.0
財務活動によるキャッシュ・フロー	**(20.9)**	**(23.2)**
為替変動の影響額	**1.4**	**(0.1)**
現金及び現金同等物の増減額	**3.7**	**(16.9)**
現金及び現金同等物の期首残高	**69.3**	**79.7**
現金及び現金同等物の期末残高	**73.1**	**62.7**

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

Agenda

1. 2027年3月期 第2四半期 (累計) 実績 P. 3

▶ **2. 2027年3月期 通期業績予想、株主還元 P. 25**

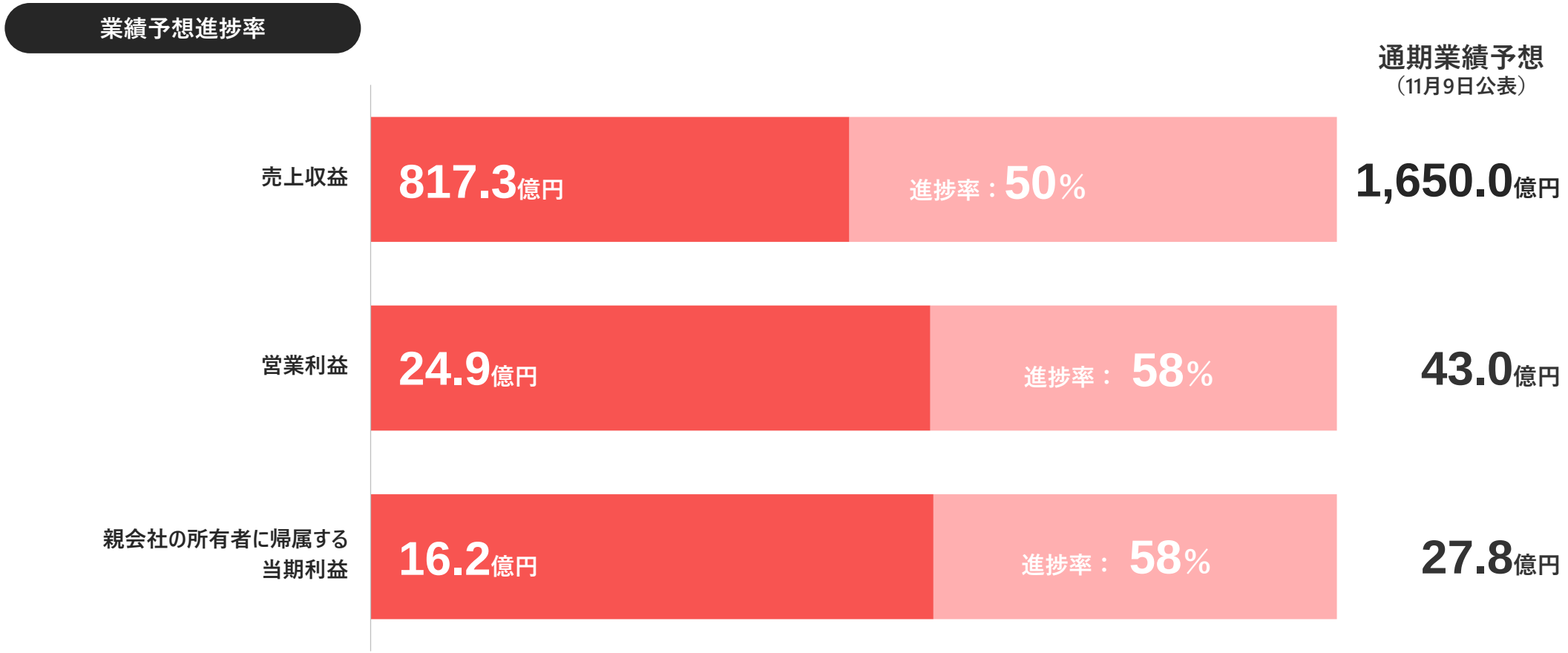
Appendix P. 30



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

連結業績見通し

- 好調な上期業績を織込み、通期業績予想を上方修正。
- 利益については、子会社の本社機能移転コストやブランドプロモーションコストの増加を見込む一方、国内Working事業、海外Working事業ともに堅調に推移する見込み。



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

通期業績予想

単位：億円	通期 (2026年11月9日公表予想) 2026/3期 実績	2027/3期 予想	前年同期比(額)	前年同期比(率)
売上収益	**1,468.5**	**1,650.0**	**+181.4**	**+12.4%**
うち、国内Working事業	882.6	952.9	+70.2	+8.0%
うち、海外Working事業	585.0	695.8	+110.8	+18.9%
うち、その他	0.9	1.2	+0.3	+35.7%
売上総利益	**323.9**	**382.9**	**+59.0**	**+18.2%**
(売上総利益率)	(22.1 %)	(23.2 %)	+1.1pt	
営業利益	**32.7**	**43.0**	**+10.2**	**+31.1%**
(営業利益率)	(2.2 %)	(2.6 %)	+0.4pt	
うち、国内Working事業	35.7	46.0	+10.2	+28.6%
うち、海外Working事業	24.2	27.2	+2.9	+12.3%
うち、その他	(3.0)	(4.0)	-1.0	–
うち、調整額	(24.2)	(26.1)	-1.9	–
親会社の所有者に帰属する当期利益	**23.1**	**27.8**	**+4.7**	**+20.5%**
EBITDA	**56.3**	**67.0**	**+10.7**	**+19.1%**

			1円変動による影響/年	
為替レート			売上収益	利益
オーストラリアドル	**100** 円	**113** 円	**3.7** 億円	**0.1** 億円
シンガポールドル	**117** 円	**125** 円	**1.9** 億円	**0.1** 億円

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

株主還元

- 利益成長を通じた企業価値向上を目指しつつ、これまで継続してきた累進配当方針を継続する。
- 2027年3月期の配当予想は、前期実績(1株当たり44円)を据え置く。

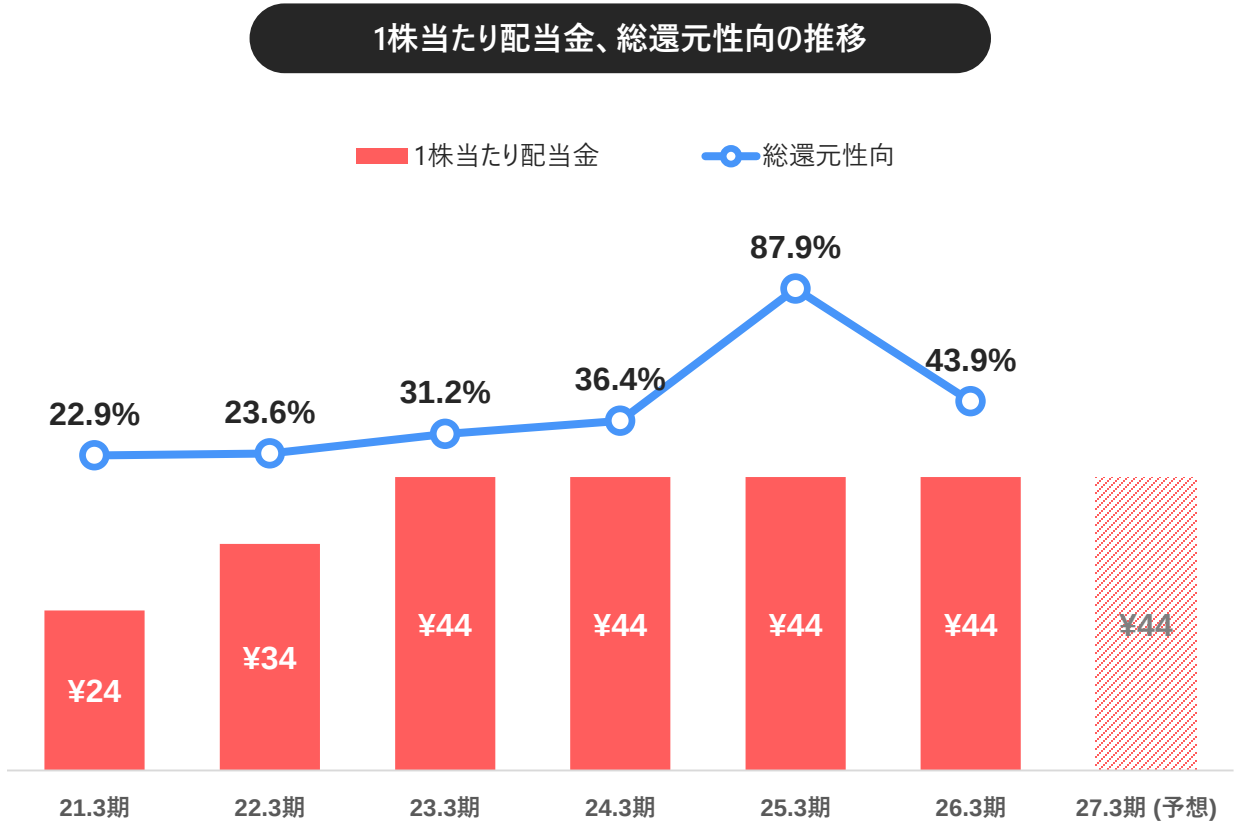
新中期経営計画期間(27.3期-29.3期)中の株主還元方針

累進配当

減配を原則実施せず、増配または維持

総還元性向30%以上

期中の業績に応じ、機動的な自己株式取得を都度検討



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

株主優待

- 2025年11月、当社株式への投資魅力をより一層高めることを目的として、株主優待制度の変更を発表。
- 新制度では、「ウィルグループ・プレミアム優待倶楽部」を通じ、金券・電子マネー・ポイント等と交換可能な株主優待ポイントを進呈。

制度内容

保有株式数	優待内容	優待利回り *2	配当利回り *2
300株以上500株未満	株主優待ポイント*1 5,000ポイント	1.5%	3.8%
500株以上	株主優待ポイント*1 10,000ポイント	1.7%	

金券、電子マネー・ポイントの他、グルメ、スイーツ、飲食類、銘酒、家電製品、選べる体験ギフト等、3,000種類以上の優待品と交換が可能。

（交換いただける金券、電子マネー・ポイントの一例）
金券：　クオ・カード
電子マネー・ポイント：　ポイント@ギフト（PayPayマネーライト・dポイント・Vポイント）
Amazonギフトカード　他

*1　株主優待ポイント数（１ポイント≒１円）
*2　優待利回り及び配当利回りは、2026年11月6日終値 1,149円で試算しています。

ウィルグループ・プレミアム優待倶楽部*



*3　写真はイメージです。また、優待商品は変更になる場合がございます。

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

Agenda

1. 2027年3月期 第2四半期 (累計) 実績 P. 3
2. 2027年3月期 通期業績予想、株主還元 P. 25

▶ Appendix P. 30



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

ウィルグループとは　－ 代表者紹介 －

2003年

2003年4月(22歳)

新卒でセントメディア
（現 ウィルオブ・ワーク）入社

2016年

2016年4月(35歳)

製造業に特化したエフエージェイ
（現 ウィルオブ・ワーク）取締役に就任

2018年

2018年7月(37歳)

当社 執行役員 人事本部長

2021年

2021年4月(40歳)

建設技術者派遣を展開する
ウィルオブ・コンストラクション
代表取締役に就任

2022年

2022年6月(41歳)

当社 取締役就任

2023年

2023年6月(42歳)

当社3代目の
代表取締役に就任（現任）

2025年

2025年1月(44歳)

約3億円の当社株式を取得
海外中間持株会社の WILL GROUP Asia Pacific Pte. Ltd.のDirectorに就任（現任）

代表取締役
角 裕一



「ウィルグループに人生フルコミット！！」

人事担当執行役員、事業会社の代表取締役を経て、実質的な創業オーナーを始めとする
「第一世代」の経営陣からバトンを受け取り、2023年6月に当社代表取締役に就任。

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

ウィルグループとは　－ 会社概要 －

- エッセンシャル領域*1を中心に、人材派遣、業務請負、人材紹介、外国人雇用支援等を手掛ける総合人材サービス企業。
- 日本、オーストラリア、シンガポールを中心に、11か国45社で展開。

Mission

個と組織をポジティブに変革する
チェンジエージェント・グループ

Vision

「働く」「遊ぶ」「学ぶ」「暮らす」の事業領域において、
期待価値の高いブランディングカンパニーを創出し、
各領域においてNo.1の存在になる

Value

Believe in Your Possibility
- 可能性を信じる -

WILL GROUP

商号	株式会社ウィルグループ
設立	2006年（創業 1997年）
代表	代表取締役　角　裕一
本社	東京都中野区
資本金	22億円（2026年3月末現在）
上場市場	東証プライム（証券コード：6089）
連結子会社数	44社（国内：12社、海外：32社）
連結従業員数	9,005名（2026年3月末現在）



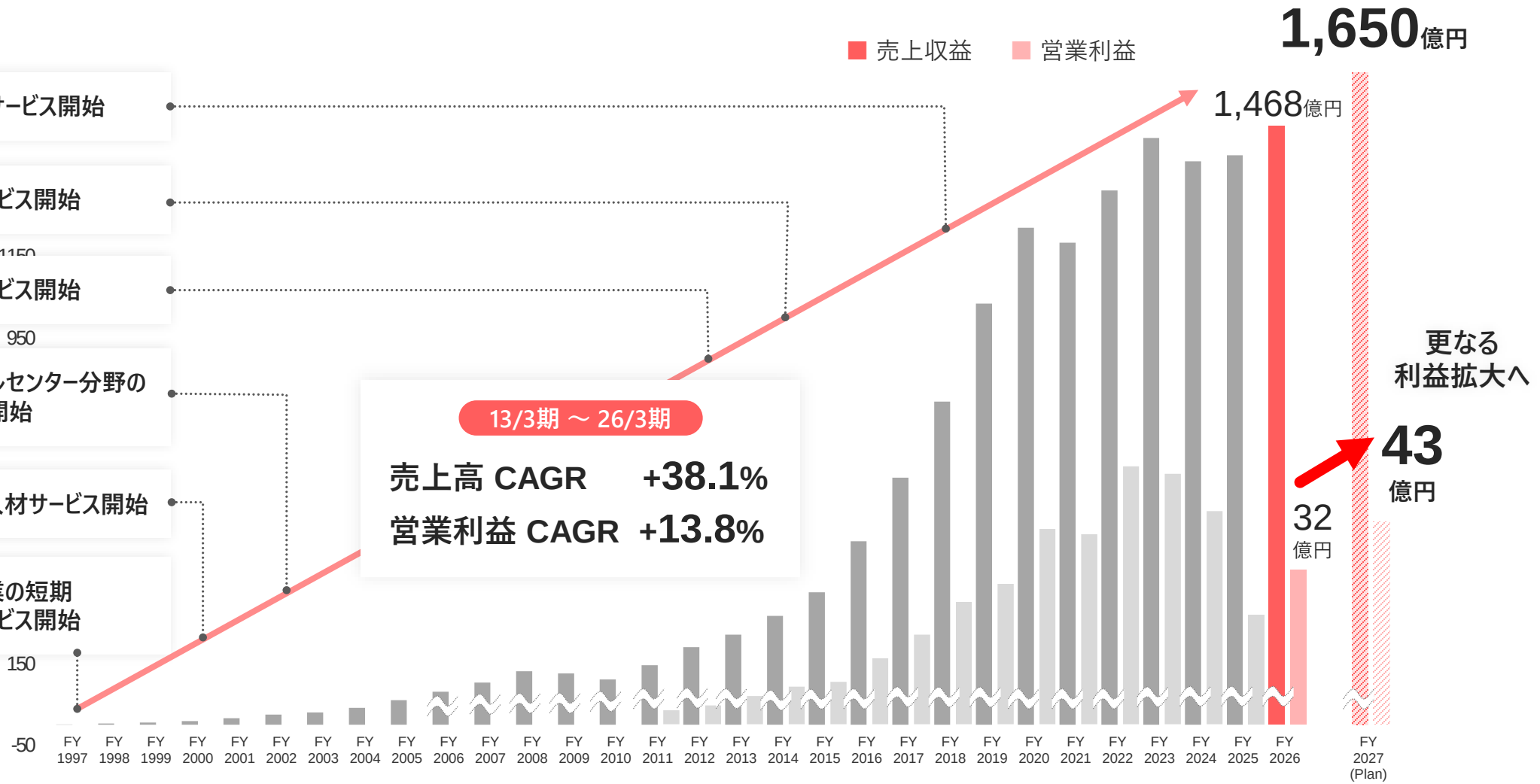
*1　エッセンシャル領域：社会生活を維持するために必要不可欠、かつAI代替・自動化されにくい領域。一般的にエッセンシャルワーカーと定義される領域を含む。

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

ウィルグループとは　－沿革と成長の軌跡－

- 2000年に製造業向けに人材サービスを開始し、絶えず新しい事業領域に参入してきたことで、持続的な成長力を培う。
- 上場をした13.3期から26.3期までの売上高CAGRは+38.1%、営業利益CAGRは+13.8%。

2018年	建設技術者サービス開始
2014年	介護人材サービス開始
2012年	海外人材サービス開始
2002年	セールス・コールセンター分野の人材サービス開始
2000年	製造業向け人材サービス開始
1997年（創業）	大阪で軽作業の短期業務請負サービス開始



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

ウィルグループとは　－事業セグメントと売上構成 －

- 連結売上におけるセグメント構成比は、国内Working事業6割、海外Working事業4割。
- 特定の事業分野に偏ることなく、経済状況や市場が激しく変化する中でも、安定的、持続的に成長することのできるポートフォリオを有することが、当社グループの強みのひとつ。

海外Working事業：39.8%

オーストラリア 24.9%

シンガポール 13.2%

海外その他 1.7%

ASEAN、オセアニア地域での人材サービス

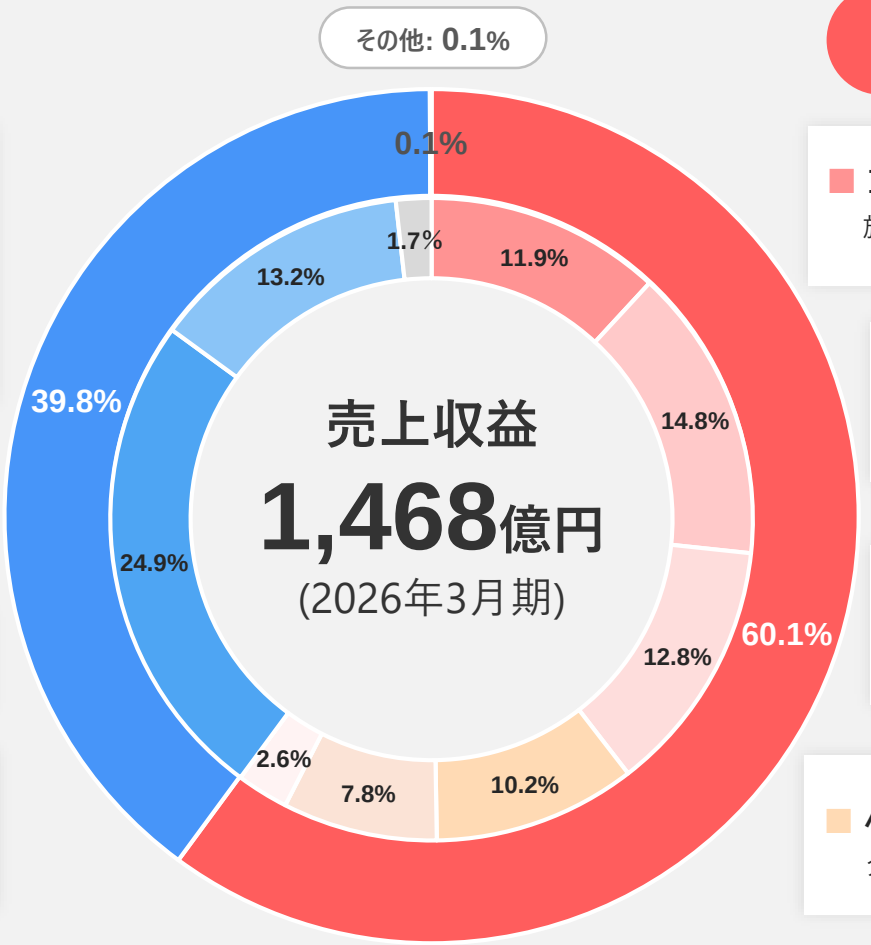


国内その他 3.2%

コールセンター 7.8%

コールセンター、オフィス向けの人材サービス





国内Working事業：60.1%

コンストラクション 11.9%

施工管理技士等の建設技術者人材サービス



セールス 14.8%

通信分野、アパレル分野等の
人材サービス、営業支援サービス



ファクトリー 12.8%

製造業等への人材サービス



ヘルスケア 10.2%

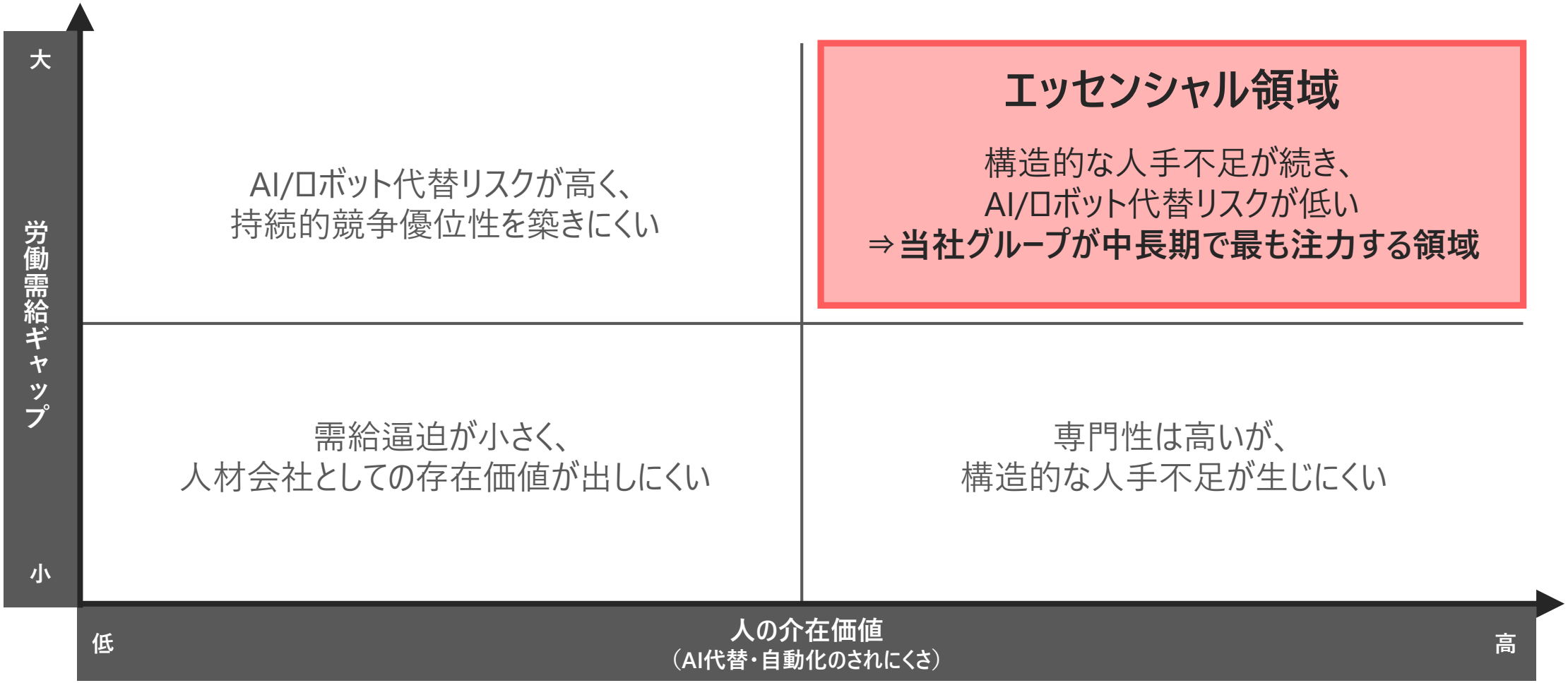
介護施設等への人材サービス



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

ウィルグループとは　－労働市場の構造－

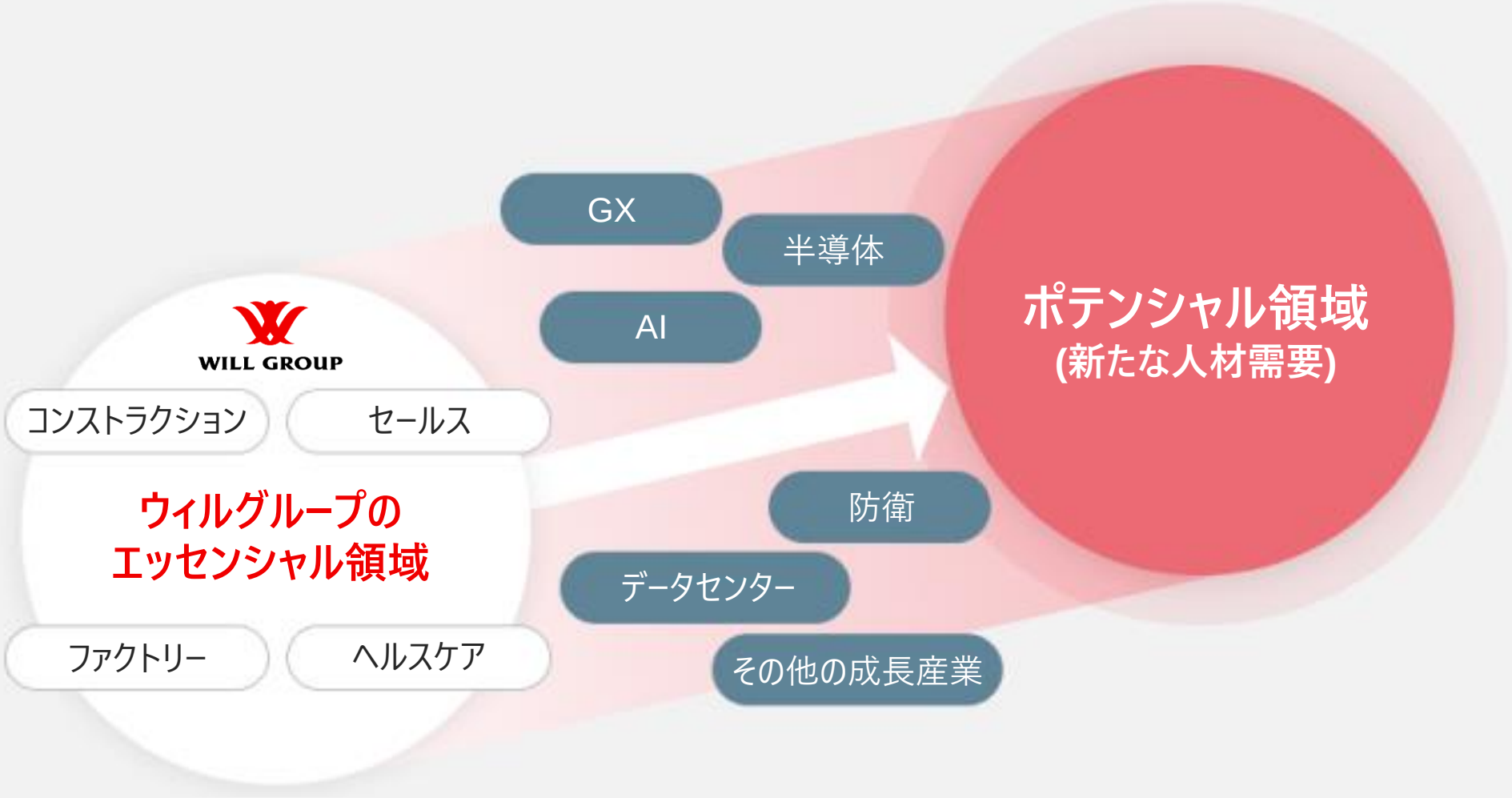
- 当社グループは、これまで主戦場で事業展開をしてきた建設や介護など、
  労働需給ギャップが大きく、AI/ロボット代替リスクが低い領域（≒エッセンシャル領域）に今後も注力する



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

ウィルグループとは　－エッセンシャル×ポテンシャル－

- 労働需給ギャップが大きく人の介在価値が高いエッセンシャル領域を事業基盤と位置づける。
  既存の顧客基盤と採用・配置・定着ノウハウを活かし、中長期的には成長投資が進む産業の多様な人材需要を取り込む。
- 正社員派遣/請負・外国人雇用支援・人材紹介を拡大し、収益性の高い事業構成への転換と持続的な利益成長につなげる。



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

ウィルグループとは　－エッセンシャル領域に強みを持つ事業基盤－

- 国内Working事業の展開分野の多くが、エッセンシャル領域に該当

コンストラクション

施工管理技士等の
建設技術者人材サービス

建築技術者派遣
業界 6 位*



セールス

通信分野、アパレル分野等の
人材サービス、営業支援サービス

販売員派遣
業界 2 位*



ファクトリー

製造業等への人材サービス

食品・製造業派遣
業界 6 位*



ヘルスケア

介護施設等への人材サービス

介護人材派遣
業界 6 位*



コールセンター

コールセンター、
オフィス向けの人材サービス

オペレーター派遣
業界 1 位*



**カテゴリーに特化し、
専門性・ノウハウを蓄積することで、
業界トップレベルのシェアを獲得**

* 当社調べ

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

ウィルグループとは　－ 後発参入でもシェアを獲得できる「強み」－

WILL GROUP

WILL GROUP

当社グループの3つの強み

① 成果追求



カテゴリー特化による高い運営力と、クライアントニーズに応えるパートナーとして、成果追求を徹底。

×

② 人材育成力



ハイブリッド派遣(正社員が現場に常駐しサポートする当社制度)等のOJTによる育成プログラムにより、未経験者を早期に戦力化。

×

③ 定着率向上



離職率の高い業種の中で、ハイブリッド派遣等による現場でのコミュニケーションやフォロー体制の向上により、定着率を向上。

▼

管理者常駐のハイブリッド派遣

成果を出すためのPDCAを回していくことで、派遣スタッフとクライアントに貢献

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

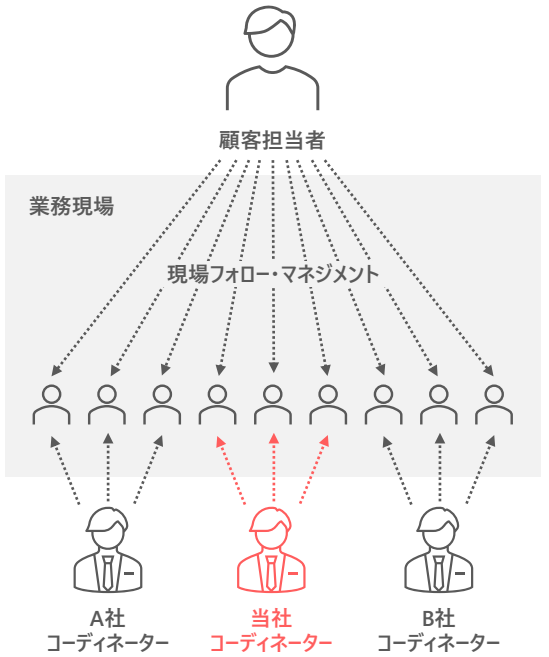
ウィルグループとは　－ ハイブリッド派遣 －

ハイブリッド派遣とは

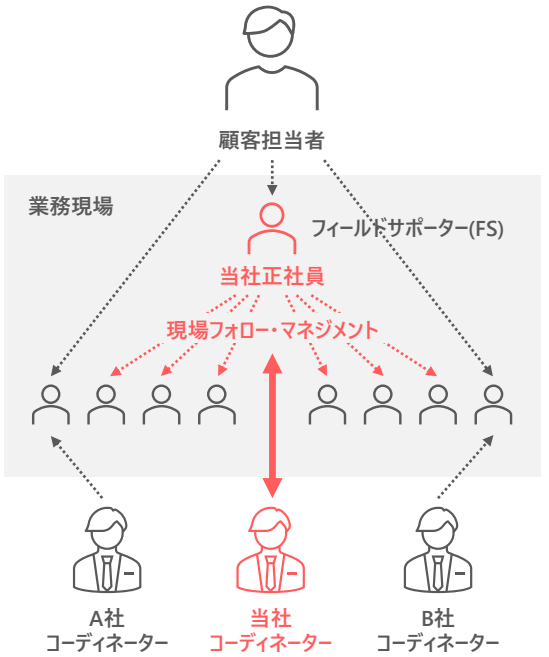
「フィールドサポーター」(FS)と呼ぶ当社の正社員が現場に常駐し、クライアント担当者、派遣スタッフ双方をサポートするユニット派遣モデル。
当社のFSが、派遣スタッフを現場でサポートする体制は、外国籍人材の派遣と相性が良い。(日本の大卒外国人正社員のFSが常駐。)

一般派遣		ハイブリッド派遣
低い	業務遂行へのロイヤルティー	高い
低い	チームワーク	高い
複雑	指揮命令	円滑
しにくい	情報共有	しやすい

一般派遣の場合



ハイブリッド派遣の場合

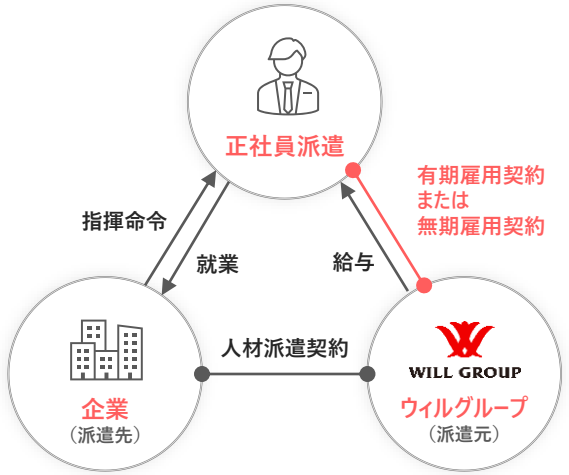


© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

ウィルグループとは　– ビジネスモデルと収益構造 –

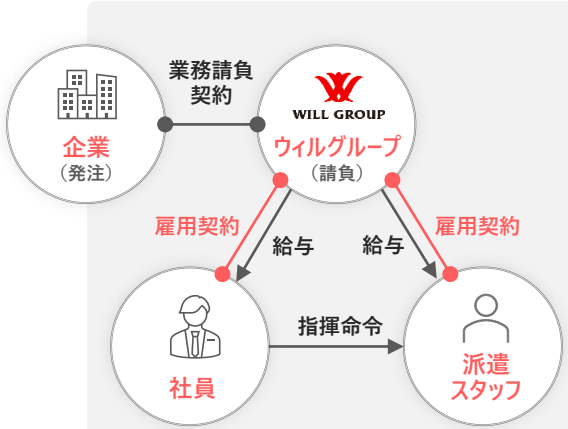
人材派遣 (有期雇用派遣、正社員派遣)

概要	人材派遣会社の雇用人材を企業に派遣する
収益モデル	顧客への請求 – 派遣社員への支給
売上構成比*1	75%
粗利率	有期雇用派遣 : 14-17% 正社員派遣 : 21-28%



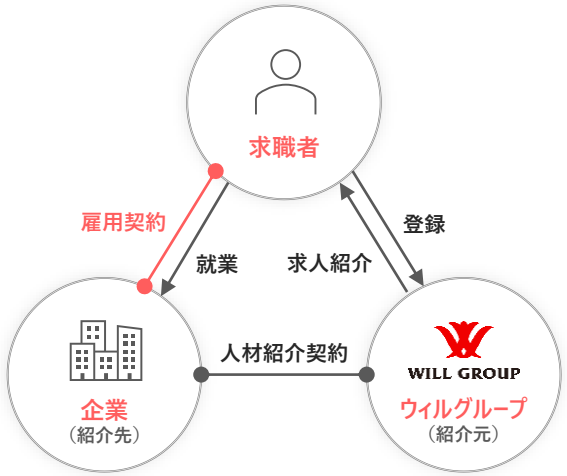
業務請負

概要	請負会社が委託会社の業務を遂行する
収益モデル	委託手数料
売上構成比*1	13%
粗利率	14～17%



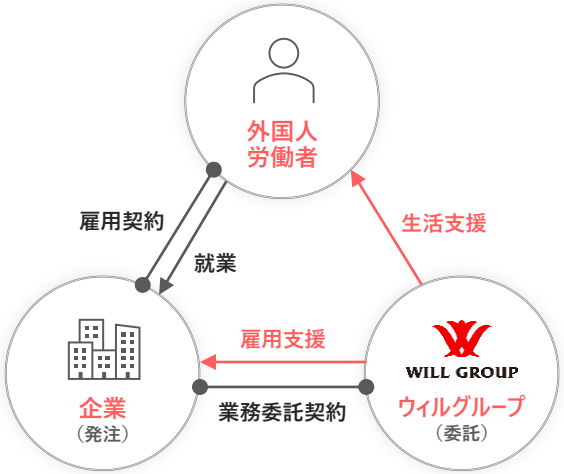
人材紹介

概要	求職者と企業との仲介を行い、マッチングする
収益モデル	紹介手数料 (年収×25-40%)
売上構成比*1	7%
粗利率	90%以上



外国人雇用支援

概要	外国人労働者の雇用支援、生活支援を行う
収益モデル	委託手数料 (月額2-3万円 / 人)
売上構成比*1	1%以下
粗利率	90%以上



※1 2026年3月期

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

ウィルグループとは　－主なグループ企業 －

	事業セグメント	主要サービス	業種
株式会社ウィルオブ・ワーク	国内Working事業	人材派遣 業務請負 人材紹介 外国人雇用支援	通信、アパレル 食品製造業 その他製造業 物流業 介護施設 保育施設 コールセンター　等
株式会社ウィルオブ・コンストラクション	国内Working事業	人材派遣	建設業(施工管理等)
DFP Recruitment Holdings Pty Ltd (オーストラリア)	海外Working	人材派遣	政府機関 通信業界　等
Ethos BeathChapman Australia Pty Ltd (オーストラリア)	海外Working	人材派遣	政府機関 金融業界　等
u&u Holdings Pty Ltd (オーストラリア)	海外Working	人材派遣 人材紹介	政府機関 大手企業　等
Scientec Consulting Pte. Ltd. (シンガポール)	海外Working	人材派遣 人材紹介	政府機関 IT業界　等
The Chapman Consulting Group Pte. Ltd. (シンガポール)	海外Working	人材紹介	HR領域　等

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

ウィルグループとは　－役員体制 (取締役及び監査役) －



取締役会長

池田 良介



代表取締役社長 CEO

角 裕一



取締役 COO

村上 秀夫



社外取締役 (独立役員)

腰塚 國博



社外取締役 (独立役員)

高橋 理人



社外取締役 (独立役員)

市川 祐子



常勤社外監査役 (独立役員)

池田 幸恵



社外監査役 (独立役員)

澤田 静華



社外監査役 (独立役員)

中村 克己

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

ウィルグループとは　－役員体制 (執行役員) －



管理本部管掌

高山 智史



ビジネスデザイン本部管掌

武田 広伸



人事本部管掌

古河原 久美



海外戦略本部/経営企画本部管掌

北村 博志



IT戦略本部管掌

片山 健太郎

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

参考情報・リンク集



中期経営計画（WILL-being 2029）

https://willgroup.co.jp/ir/management/strategy/



統合報告書2025

https://willgroup.co.jp/integrated_report/2025/

有価証券報告書

https://willgroup.co.jp/ir/library/



サスティナビリティ

https://willgroup.co.jp/sustainability/

IRニュース

https://willgroup.co.jp/ir/news/

株式情報ページ

https://willgroup.co.jp/ir/stock_info/basic_info/

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウィルグループ　カンパニーセクレタリー室IRグループ
TEL：03-6859-8880
Mail：ir@willgroup.co.jp

■「IRメール配信サービス」のご案内

当社では、IRに関するメール配信を行っています。
適時開示情報やニュースリリース等最新のIR情報を素早くお届けしていますので、
ぜひご登録ください。

IRメール配信登録▶

WILL GROUP

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.